

(有) エフ・エフ・ヒライデ 平出 賢司さん
(宇都宮市 平成22年度修了生)

「生産工程管理の確立と人材育成、その先で得た物」

1 ビジネススクール受講の動機

法人化後、課題にしていた片腕となる人材育成の必要性、縮小する市場規模の中で生き残る商品作り、エネルギー問題と環境負荷を念頭に置いた、持続可能な生産方式の確立などのヒントを求め受講しました。



2 スクール受講中と修了後の経営改善

- 生産工程管理の整備に着手、日々の作業を定量化し、労務バランスのよい生産方式を確立しました。これにより自身が現場を離れて営業活動に取り組めるようになり新規取引先を開拓しました。取引先が要求する物を「品質・数量・時期をアジャストして提供する」ことができ、顧客との良好な取引関係が構築できています。
- また、直販部門においては妻が専任となり、商品開発などにおいて価値の再構築を図っており、主にエンドユーザーの新たな顧客開拓に取り組んでいます。
- 生産設備面では、加温のためのヒートポンプを全圃場へ導入、脱化石燃料を着実に進めています。人材面においては今年から自身が代表取締役役に就任、今後は主たる経営者としてリーダーシップを発揮して参ります。また、新入社員の採用を内定済みであり、現場マネジメントできる人材育成を目指します。
- スクール受講時(22年)には既に現在の生産規模でしたが、その後も販売額を伸ばし、昨年は最高額を更新しています。一昨年には社屋も兼ねた作業場を整備し、生産効率の改善に寄与しています。

3 ビジネススクールを受けたメリット

経営技術や手法を学ぶことはもとより、自身の考えの整理、経営者マインドの獲得に非常に役立ちました。また、現在の経営者としての自分にとって大変役立っています。